

富里市 小学校区別防災カルテ

<概況>

7 根木名小学校

地区の概況

[地形・地勢]
根木名川沿いを中心に低地が広がる。、低地沿いには、人口改変地が存在する。台地の割合は半分ほどである。

[交通]
県道八日市場・佐倉線が中央を東西に走る。

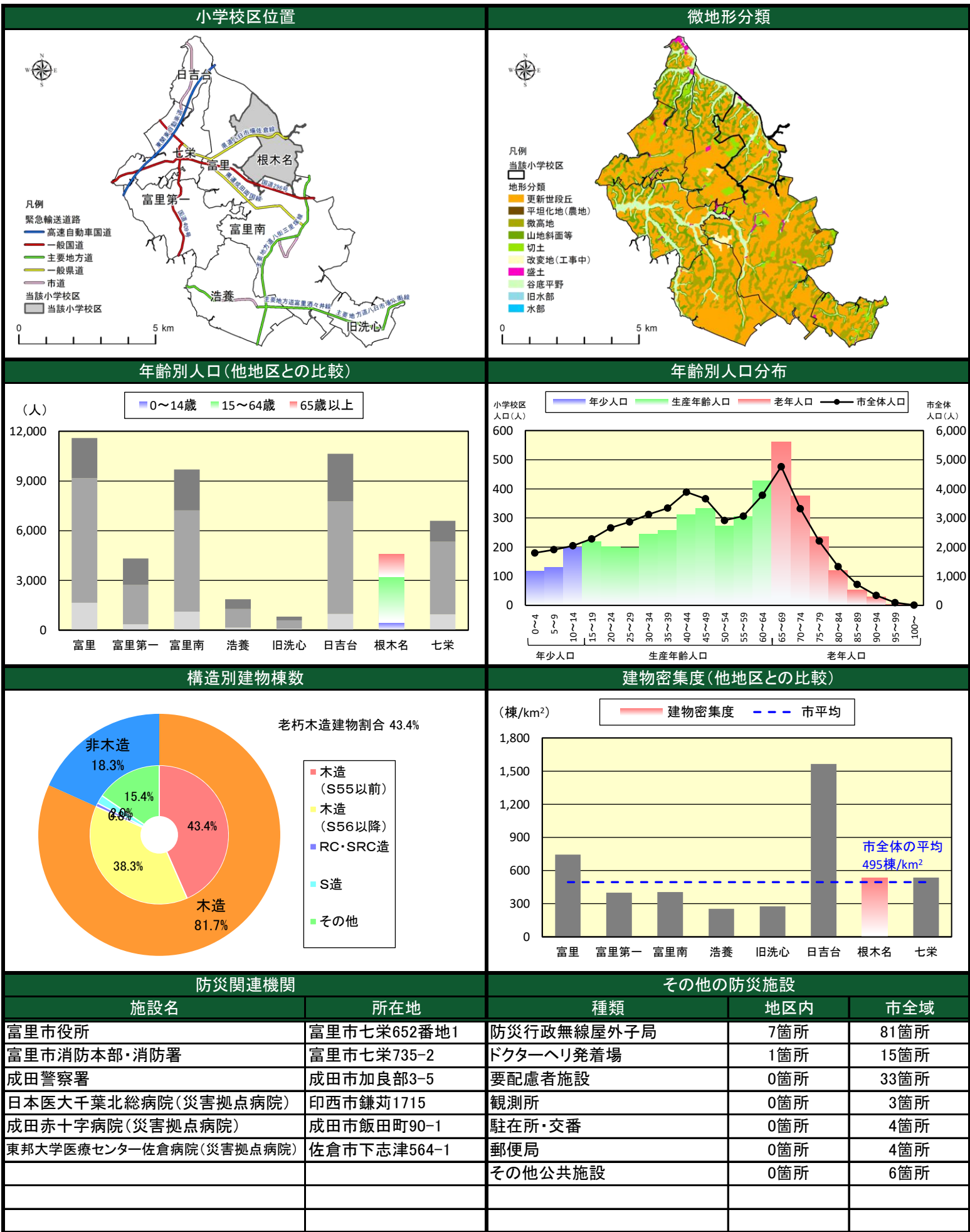
[人口]
人口は8校区のうち4番目に少ない。年齢別人口割合をみると年少人口と生産年齢人口が市全体の割合より低く、老年人口は高い。

[建物]
1km²当たりの建物棟数割合は8校区のうち4番目に高く、市全体の平均をわずかに上回っている。木造老朽建物割合は43.4%である。

[避難施設]
指定緊急避難場所は2箇所、指定避難所は2箇所(収容人数は831人)指定されている。

				小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積				4.47 km ²	53.88 km ²	8.29%	
人口・家屋の分布状況	人口分布状況	人口		4,598 人	50,134 人	9.17%	
		人口密度		1,029.30 人/km ²	930.48 人/km ²	—	
		男女別人口	男	2,311 人	25,584 人	9.03%	
			女	2,287 人	24,550 人	9.32%	
		世帯数		1,961 世帯	22,654 世帯	8.66%	
		0歳以上～14歳		446 人	5,754 人	7.75%	
		15歳以上～64歳		2,771 人	31,569 人	8.78%	
		65歳以上～		1,381 人	12,811 人	10.78%	
		避難行動要支援者		925 人	10,851 人	8.52%	
	うち 一次名簿対象者		242 人	3,399 人	7.12%		
	うち 手上げ名簿対象者		683 人	7,452 人	9.17%		
	建物分布状況	建物棟数		2,384 棟	26,684 棟	8.93%	
		木造(S55以前)		1,035 棟	11,087 棟	9.33%	
		木造(S56以降)		913 棟	10,704 棟	8.53%	
		RC・SRC造		20 棟	290 棟	6.87%	
S造		47 棟	1,513 棟	3.14%			
その他		368 棟	3,089 棟	11.92%			
密集度		533.66 棟/km ²	495.25 棟/km ²	—			
避難施設	種類			施設名称	収容人数(人)		
	指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所
	●	●		根木名小学校	2,355	243	0
	●	●		富里中学校	7,812	588	0
	収容人数合計				10,167	831	0

注 一次名簿対象者は、要介護3以上の方、障がい者、外国人等、手上げ名簿対象者は、単身の高齢者、妊産婦等を示す。
避難施設の収容人数は、複数の小学校区にまたがる中学校の収容人数も、全体の値を記載している。



富里市 小学校区別防災カルテ

＜結果＞

7 根木名小学校

風水害					
土砂災害 結果被害		箇所数(箇所・地区)	重なる面積(ha)	避難の対象世帯数(世帯)	避難の対象者数(人)
	急傾斜地崩壊危険箇所	2	0.87	5	10
	土砂災害警戒区域	0	0.00	0	0
	うち特別警戒区域	0	0.00	0	0
	山腹崩壊危険地区	0	0.00	0	0
浸水 結果被害 想定	根木名川浸水(洪水)想定区域		内水氾濫箇所		
	小学校区(a)		市全体合計(b)	内水氾濫種類	小学校区(a) 市全体合計(b)
	浸水面積(km ²)		0.00 0.11	床上浸水(棟)	0 15
	浸水する建物数(棟)		0.00 109.00	床下浸水(棟)	2 94
	避難の対象者数(人)		0.00 332.49	道路浸水(箇所)	1 26

地震災害										
地震被害 想定結果		震度階級					液状化危険度			
		5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL
	面積(km ²)	0.00	0.00	4.47	0.00	0.00	2.99	0.00	1.45	0.03
	面積率(%)	0.00	0.00	100.00	0.00	0.00	67.01	0.00	32.39	0.60
	建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)				
	小学校区(a)			市全体合計(b)	割合(a/b)	小学校区(a)			市全体合計(b)	割合(a/b)
	木造	全壊	143	1,751	8.14%	死者数		1	11	8.50%
		半壊	439	4,766	9.20%	負傷者数		102	1,190	8.60%
	非木造	全壊	3	60	5.65%	重傷者数		14	181	7.83%
		半壊	8	160	5.15%	避難者数		391	4,646	8.41%
	焼失棟数		1	7	7.96%	避難所避難者数		234	2,788	8.41%
	上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)				
	断水人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	支障人口	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)		
		3,626	25,672	14.12%		0	1,053	0.00%		

注 地震被害想定結果の建物被害、ライフライン被害は、冬18時強風時、死傷者数は冬深夜強風時の結果
避難所避難者数、断水人口、下水道支障人口は、地震発生直後の結果

災害の種類		災害の評価(%)	数値	順位	評価指標
風水害	土砂災害	土砂災害の影響を受ける避難人口率 ※避難対象人数(人)/地区の総人口(人)	0.2	3/8	
	浸水(洪水)	洪水の影響を受ける避難人口率 ※避難の対象者数(人)/地区の総人口(人)	0.0	2/8	
	浸水(内水氾濫)	建物が内水氾濫の影響を受ける被害率 ※床上床下浸水合計棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	0.1	8/8	
地震被害	地盤被害	液状化の被害面積率 ※危険度15<PL(m ²)/地区全体面積(m ²)	0.6	4/8	
	建物被害	地震による建物被害率 ※全壊棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	6.1	7/8	
	火災被害	火災による建物被害率 ※焼失棟数(棟)/地区全体建物数(棟)	0.0	6/8	
	人的被害	地震災害による死傷人口率 ※死傷者数(人)/地区全体人口(人)	2.2	5/8	
	避難者	地震災害による避難人口率 ※避難所避難者数(人)/地区全体総人口(人)	5.1	7/8	
避難行動要支援者		避難行動要支援者率 ※避難行動要支援者数(一次名簿のみ)(人)/地区全体総人口(人)	5.3	8/8	

土砂災害

浸水(洪水)

浸水(内水氾濫)

地盤被害

建物被害

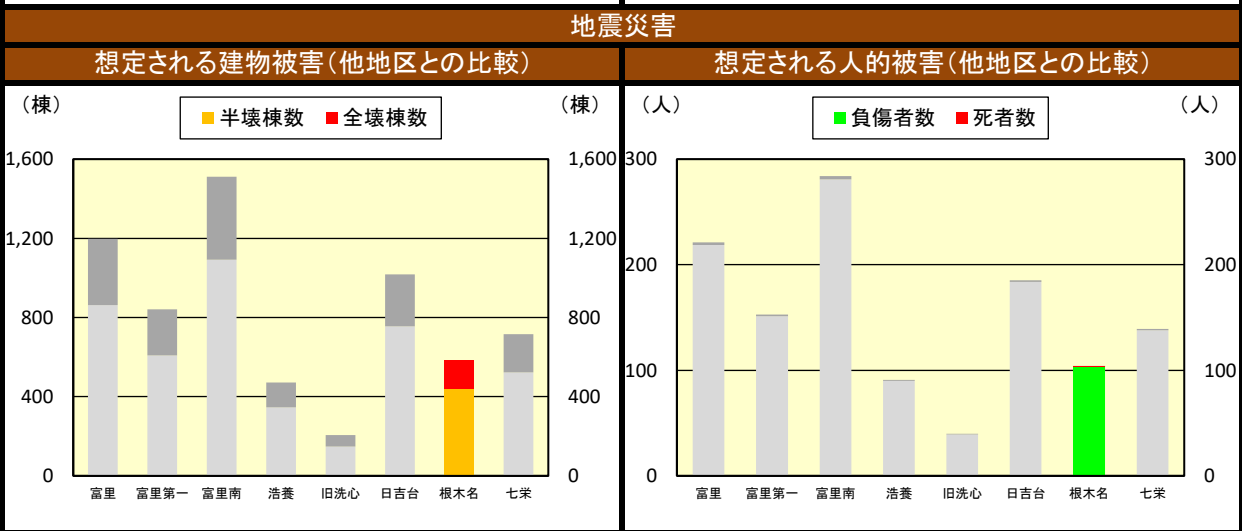
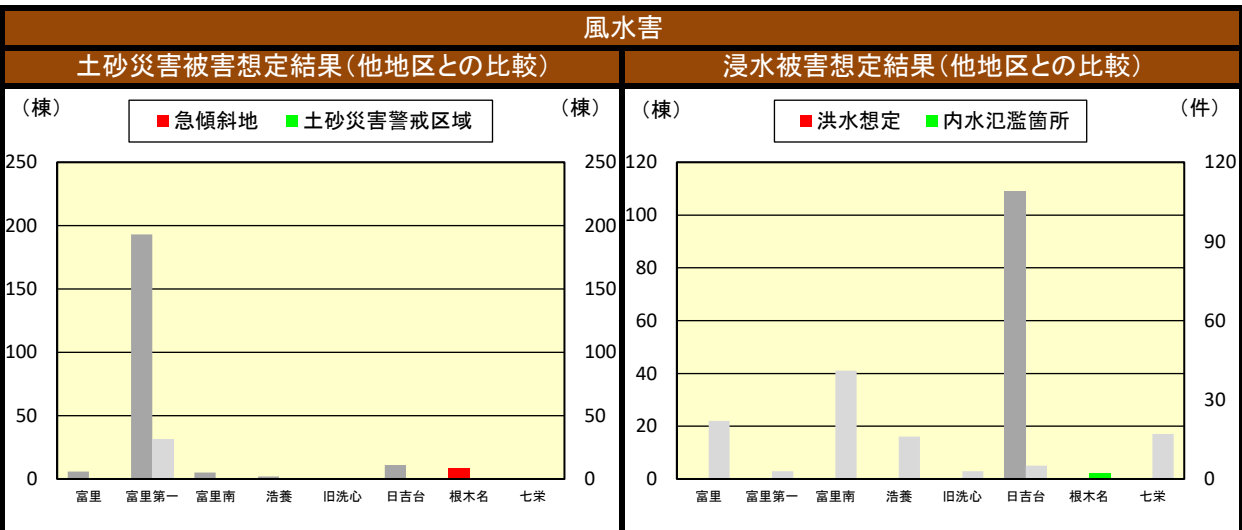
火災被害

人的被害

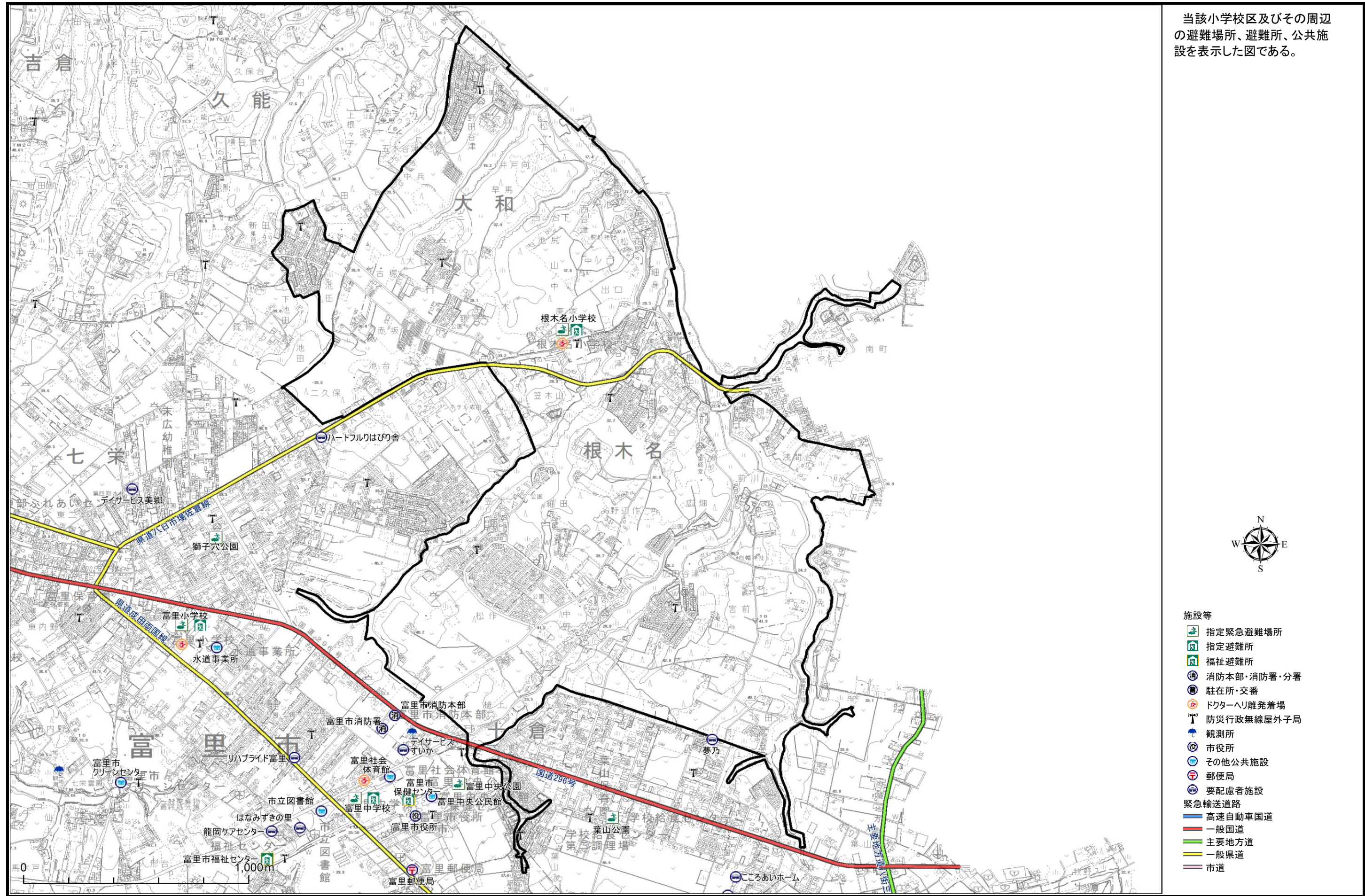
避難者

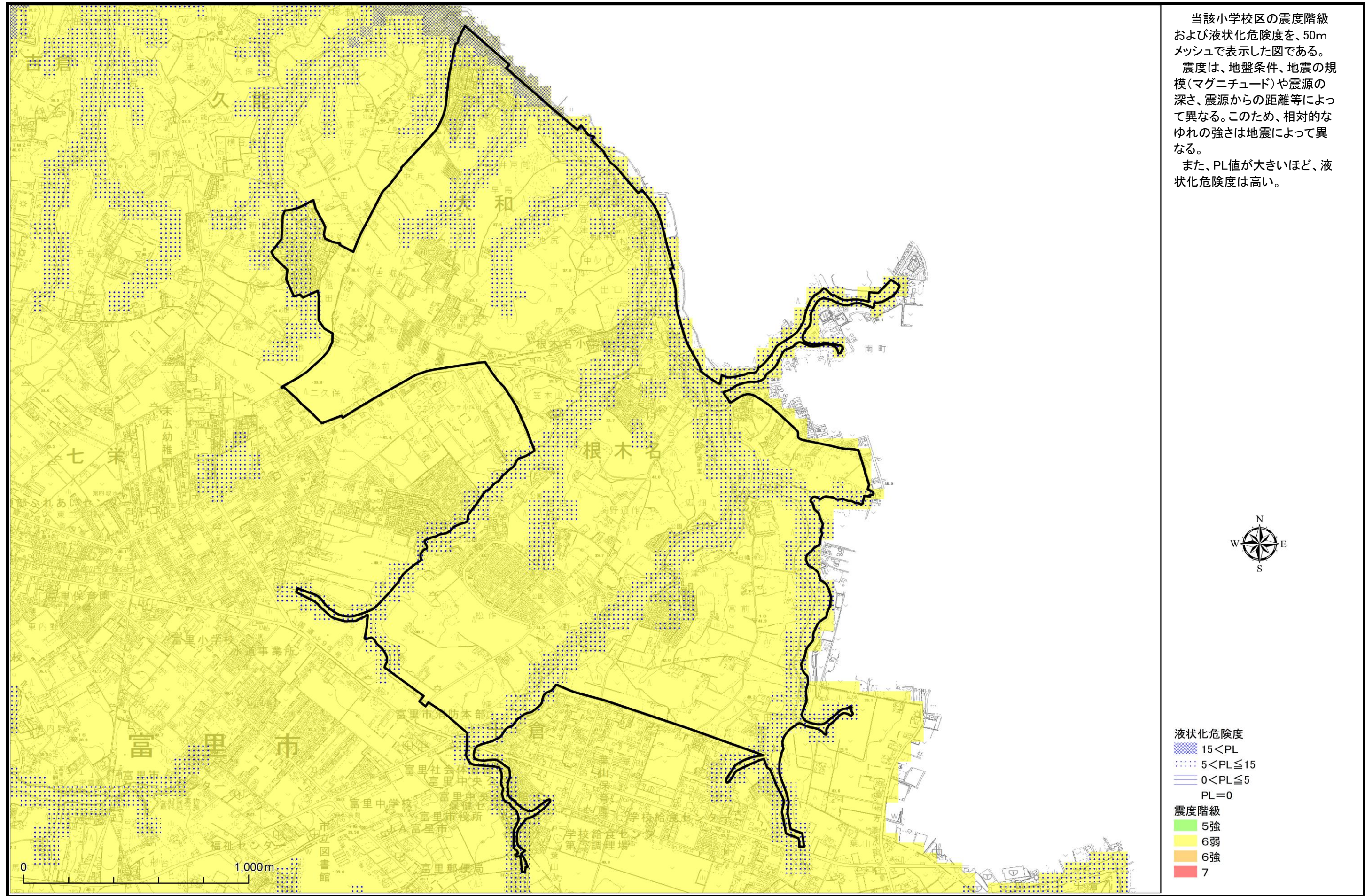
避難行動要支援者

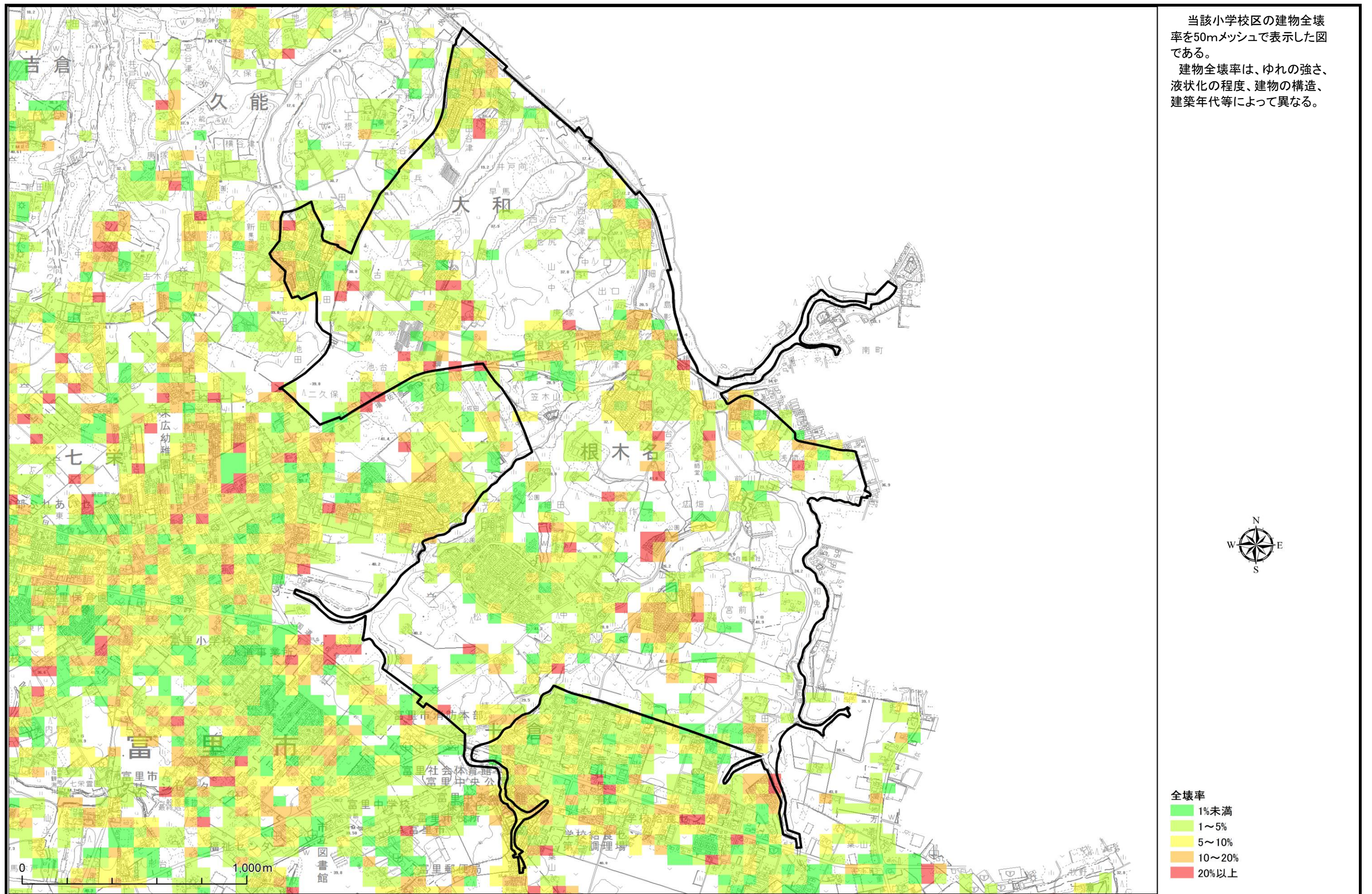
グラフの見方:
評価指標は、上記の災害の種類を、災害の評価に基づき、パーセンテージで表したものです。グラフの九角形面積が広いほど、地域が総合的に「災害に弱い」ことを示しています。



地区の災害特性		防災対策の方向性	
風水害	●根木名川付近では、斜面等が存在し、土砂災害の危険性があり、土砂災害の影響は3番目に大きい。 ●内水氾濫による被害は比較的少ない。	風水害	●急傾斜地崩壊危険箇所の対策工等の整備が必要である。 ●内水氾濫箇所は、雨水排水機能の強化が必要である。 ●大雨等による風水害に備え、日ごろから避難体制(特に要配慮者への支援)の整備を進める必要がある。
地震被害	●富里市直下の地震が発生した場合、全域で震度6弱の強い揺れが想定される。 ●根木名川沿いの低地を中心に液状化の危険性が高く、液状化の危険性の高い面積は4番目に大きい。 ●建物の全壊率は2番目に低い。 ●校区の避難所避難者数は234人に対して指定避難所の収容人数は831人であり収容能力は十分である。	地震被害	●液状化のおそれのある地域では、地盤改良等の液状化対策が必要である。 ●昭和56年以前の建物には耐震化や家具の固定等を行う必要がある。 ●木造建物の不燃化として、沿道建物の不燃化等の推進を図る必要がある。 ●日ごろから避難訓練への参加や家庭内備蓄を行う必要がある。







富里市 小学校区別防災カルテ

＜風水害 浸水想定区域図(根木名川), 土砂災害の危険な箇所等＞

7 根木名小学校

